

秋 2024年9月10月11月 イベント ご案内



●…定員 ●…参加料金 ●…申込方法 ●…雨天時 ●…持ち物 ●…対象

WEB事前申込：開催日の1ヶ月前より受付開始
各イベントの詳細はHPをご覧ください

動植物体験プログラム

プロジェクト・ワイルド 自然発見塾

ゲームを通して生きもののくらしについて楽しく学ぼう！

9月14日(土)、10月12日(土)、11月9日(土) 13:00~14:30
◎各日30名 ◎100円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行

里山倶楽部 秋のきのこの鑑定団

秋に顔をみずかき、きのこのこを調べよう。

9月29日(日) 10:00~15:00
◎20名 ◎100円 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

里山自然観察会「トンボの不思議」

自然生態園に生息しているトンボを観察します。

10月19日(土) 13:00~15:00
◎30名 ◎無料 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

ムササビ観察会

夜の哺乳類観察、ムササビに会いに行こう。

11月24日(日) 16:00~18:00
◎30名 ◎100円 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

手作り体験プログラム

里山生活体験 うどんをつくろう

自分でうどんを作り、味わおう！

9月15日(日)、10月14日(月祝) 10:00~13:00
◎各日4組 ◎200円/玉 ◎WEB事前申込 ◎エプロン・三角巾(髪を覆う布 バンダナでも可)・マスク ◎雨天決行

ほし柿をつくろう

甘いほし柿を自分で作ってみよう！

11月24日(日) 10:00~11:00 11:00~12:00
◎各回10名 ◎300円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行

ネイチャークラフト 葉っぱで遊ぼう

いろいろな葉っぱを使ってオリジナル作品をつくろう！

11月17日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
◎各回20名 ◎100円/作品 ◎当日受付

里山伝承体験 竹細工をしよう

貯金箱、竹トンボなど竹を使って作ってみよう！

9月22日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
◎各回20名 ◎100円/作品 ◎当日受付 ◎雨天決行

草木染めをしよう

園内の植物を使って染めたオリジナルハンカチを作ろう！

10月13日(日) 10:00~15:00
◎15名 ◎400円/作品 ◎WEB事前申込 ◎弁当 ◎雨天決行

コースターをつくろう

綿糸を使ってきれいなコースターを作ろう！

10月26日(土) 10:00~12:00
◎5組 ◎700円/作品 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行

わら草履をつくろう

わらを使って昔ながらの草履を作ろう！

11月2日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00
◎各回4組(1組当たり4名まで) ◎100円/作品 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行 ◎小学生以上(中学生以下は保護者の同伴参加必要)

さぬきの味・白味噌づくりに挑戦！

手作り味噌を作ります。11月7日(木) 13:00~15:00
◎10名 ◎3,000円/組 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行

森の体験プログラム

森の探検隊

クイズを解きながら森の中を探検します。

9月1日(日) 13:30~15:30
◎20名 ◎100円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

森でリフレッシュ！ハンモック体験

親子で森の散策とハンモック体験でリフレッシュ！

9月16日(月祝) 10:30~12:00、13:30~15:00
◎各回10名 ◎100円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

それゆけ！きこり探検隊 ~巣箱づくり~

巣箱づくりを行い、野鳥について学んでいただく。

10月6日(日) 10:00~13:00
◎20名 ◎100円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止

はじめての森でおさんぽ！里山保育

親子と一緒に森の自然を楽しみながら歩きます。

11月30日(土) 10:00~12:00
◎10組(1組当たり3名まで) ◎100円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止 ◎未就学児と保護者(保護者の同伴参加必要)

その他

里山ネイチャーキャンプ

様々なアクティビティや火を起こして調理を行うなど、キャンプを楽しもう！

10月26日(土)~10月27日(日)
◎16名(対象小学4年生~6年生) ◎8000円/人 ◎WEB事前申込 ◎雨天決行(荒天中止)

自然生態園収穫祭

自然生態園で収穫した古代米を入れ、餅つきをし、収穫を祝います。

11月23日(土) 10:00~
◎20名 ◎300円/人 ◎当日受付 ◎雨天決行

さぬきの森の日

丸太切り体験や間伐材を使った工作体験、森のオセロなどをします。

11月2日(土) 10:00~15:00
◎なし ◎各ブースにより異なる ◎当日受付 ◎雨天の場合の実施可否は各ブースにより異なる

このかわら版は、「まんのう公園インタープリター・ボランティアの会」、「国営讃岐まんのう公園さぬきの森の会」の皆様のご協力を頂いております。

イベントは変更または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

国営讃岐まんのう公園 自然生態園

〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
各種イベントのお問合せはこちらまで！

0877-79-1807

FAX：0877-79-1704
ホームページ：https://sanukimannopark.jp

さぬきの森の会 会員募集

国営讃岐まんのう公園さぬきの森で、森づくりや森林体験イベントなどの活動を行う「さぬきの森の会」の会員を募集中です。興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園までご連絡ください。

202408 8,000

自然生態園 秋号 自然生態園 自然生態園

2024年9月10月11月

Natural Ecological Garden Sanuki Woods

ガイドプログラム 参加無料

※入園料・駐車料金が別途必要となります。

自然生態園 ガイドウォーク

インタープリターと一緒に楽しく散策をしよう！
※平日は、団体でのご利用を事前申込で受け付けています。

土日祝
10:30~12:00、13:30~15:00
◎各回10名 ◎無料 ◎当日受付 ◎荒天中止 雨天決行

満濃池展望遊歩道 ガイド

展望遊歩道から満濃池の歴史や空海について解説します！

10月5日(土) 10:30~12:00 13:30~15:00
◎なし ◎無料 ◎随時 ◎雨天中止
集合場所は、満濃池展望遊歩道 希望の橋

さぬきの森 ガイドウォーク

インタープリターが日ごろ、入れないエリアなどをご案内します！

9月16日(月祝)、9月29日(日)、10月14日(月祝)、11月4日(月祝)、11月24日(日) 10:30~12:00、13:30~15:00
◎各回10名 ◎無料 ◎当日受付 ◎少雨実施

湖畔の森 ガイドウォーク

インタープリターが満濃池のすぐ近くまでご案内します！

10月20日(日) 10:00~15:00
◎10名 ◎無料 ◎WEB事前申込 ◎昼食、飲み物 ◎雨天中止

悠久の歴史 ガイド

まんのう公園が昔、竜頭地区と呼ばれていた時の姿や暮らしを紹介し、自然生態園が誕生した理由など、歴史をお伝えします。

10月20日(日) 10:30~12:00
◎30名 ◎無料 ◎WEB事前申込 ◎雨天中止
集合場所は、自然生態園

インタープリターとは「自然案内人」です

インタープリターは、一般的に〈通訳〉と表現されていますが、国営讃岐まんのう公園では園内の自然や歴史・文化を知識のみではなく、その背景にあるメッセージを含めてわかりやすく伝える人をインタープリターと呼んでいます。

募集 随時受付
対象 高校生以上の方

あなたも自然を伝える活動に参加しませんか！

インタープリター・ボランティア インターシップ研修

目的 インタープリター活動に興味がある方に、気軽に活動を体験し、活動内容をご理解いただく講座です。

年間通じての研修にて、自然に関する興味を深めると同時に、インタープリターボランティアとして活動するための知識・技術を学びます。



植物 クズの花
9月 生態園全域

あき ななくさの七草のひとつで、生態園の林縁部や斜面などにツルを伸ばして茂ります。根を乾燥させたものは漢方薬として利用され、煎じた物は「葛根湯」と呼ばれます。

キノコたち

秋の雑木林はキノコの王国。写真のチャツムタケの他にもさまざまな大きさ、色、形をしたキノコがあちこちで見つかります。「食べられるの?」「毒キノコじゃないの?」...気になる人は、「ガイドウォーク」や「秋のきのこの鑑定団」に参加してみてくださいね!



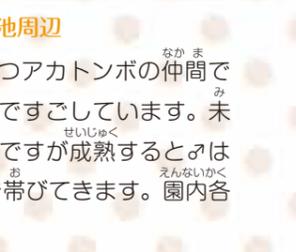
植物 キセルアザミ
9月中旬～10月上旬
北の谷 東の谷 湿地の谷

湿地に生え、花は茎の先端に1個咲きます。花の咲いた様子が、火をつけた「キセル(煙管)」のように見えるのでこの名前がつけました。



ミヤマアカネ
8月～11月/南の台地及び逆様池周辺

日本で一番きれいな翅模様を持つアカトンボの仲間です。暑い夏の間は池周辺の林縁ですごしています。未成熟期は雄雌とも麦わら色の体色ですが成熟するとみはぜんたいに赤みがかかり、♀は橙褐色を帯びてきます。園内各所で見られます。



常盤木の丘 さぬきの森

アカマツ林の再生を行っているエリアです。花ふぶきの丘に向かって散策して行くと讃岐山脈や周辺の山々の眺望が楽しめます。

ヤマノイモ
9月～10月 さぬきの森

山野にふつうに生えるツル植物です。7～8月に白色の花が咲き、秋に楕円形の翼がついた扁平な種子ができます。また、葉のつけ根に、球根と同じ性質をもつ「ムカゴ」ができ、地面に落ちると発芽します。ヤマノイモの根やムカゴは食べられます。

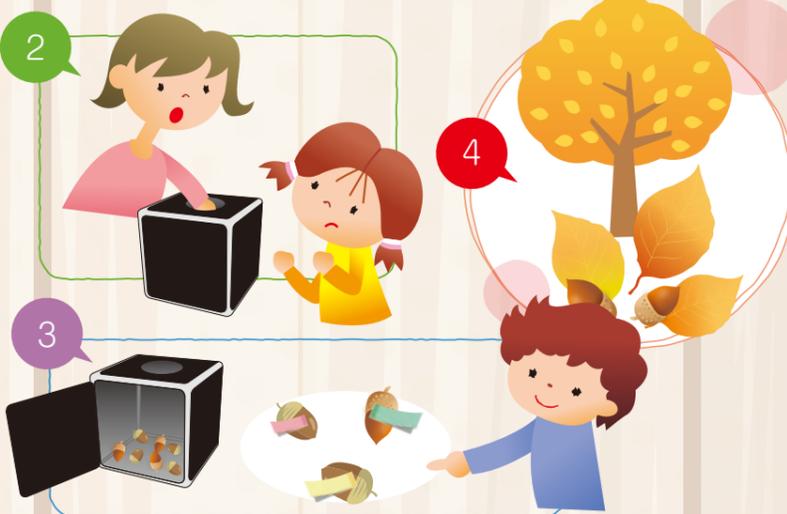
ヤマジノホトトギス
9月～10月 さぬきの森

花びらに細かな紫の点があり、この紫の点を鳥のホトトギスの胸の模様に見立てて「ホトトギス」の名前がついています。ヤマジノは「山路の」と書きますが、あまり深い意味はないそうです。

ヤブラン
9月～10月 さぬきの森

林内で小さな紫色の花を咲かせます。花が終わると黒い実をつけます。奈良・平安時代の頃から歌にも詠まれた植物で、万葉集に出てくる山菅は、ヤブランのことを指すとも言われています。

アクティビティ 木にふれてみよう



イラストイメージは次の通り。

- はじめに「木とは?」を問いかけ、参加者の意見を引きます。木の長所を写真やイラストを使って説明。
- ブラックBOXを見せ、「ある木」にかかわりのあるものが入っていることを告げる。今から1人ずつBOXに手を入れて何か1つをさわる。その感触をオノマトペ(擬態語)であらわし、ポストイットに書き留める。ただし、BOXの外に出してはダメ。ひよっとするとかまれるかも?
- 全員がさわったらBOXをあけ、種明かし。1つ1つ取り出し、解説しながら床に置いていく。さて、今度は、五感を使って、さっきさわったものがどれか探して、そうだとしたら自分のポストイットをそこに貼るように促す。
- みんな体験してどうだった? ある木とは、ドングリの木だったね。でも、ふれた感触は、人によってさまざま。それが個性です。五感を使うと見えなかったものが見えてくる。不思議ですね。ドングリの木は、海ともつながっていることなどを解説。どングリに限らず、森の木は、さまざまな形や特徴をもっているし、さまざまな生き物ともつながっている。私たち木がなくて暮らしていけない。木は地球にとってなくてはならない大切な生き物です。むやみに折ったり、傷つけないようにしましょうねと終わる。

トピックス 自然生態園のつるべ井戸

自然生態園のつるべ井戸は、直径が約70cm、深さ(石積みの上部分から水面まで)が約4m85cmあります。(水位は季節によって変動します)

ここでは、ロープの両先端についたバケツ(つるべ)と滑車を使い、昔ながらの方法で井戸水をくみ上げる体験ができます。水温は、年間を通じてほぼ一定の18℃前後であるため、夏は冷たく、冬は温かく感じられます。「つるべ井戸」の名前は、昔、縄の先につけた水を汲む入れもの(桶)を「つるべ」と呼んでいたことに由来します。

【使い方】
上にあがっている空のバケツを下にさげると、滑車を伝って、反対側のバケツに水が入って上がってくる仕組みで水が汲みあがります。一度、井戸からくみ上げた水は、地下水を汚さないように、井戸の中に水を戻さず、井戸の外にあるタライに入れてください。自然生態園で昔懐かしい「水のくみ上げ体験」を満喫してみてください。